

みずほCustomer Desk Report 2017/06/06号(As of 2017/06/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.49 AUD/USD
TKY 9:00AM	110.47	1.1278	124.62	0.9632	1.2866	0.7427
SYD-NY High	110.73	1.1285	124.70	0.9660	1.2940	0.7499
SYD-NY Low	110.25	1.1235	124.21	0.9627	1.2852	0.7416
NY 5:00 PM	110.46	1.1254	124.38	0.9651	1.2905	0.7488
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.04/8.39		25RR	1.393	Yen Call Over	
NY DOW	21,184.04	▲ 22.25	債券市場			
NASDAQ	6,295.68	▲ 10.11	日本2年債	-0.1450	0.8bp	
S&P	2,436.10	▲ 2.97	日本10年債	0.0500	▲ 0.5bp	
日経平均	20,170.82	▲ 6.46	米国2年債	1.3020	1.4bp	
TOPIX	1,609.97	▲ 2.23	米国5年債	1.7418	2.3bp	
シカゴ日経先物	20,170.00	▲ 10.00	米国10年債	2.1817	2.3bp	
ロンドンFT	7,525.76	▲ 21.87	独10年債	0.2870	1.3bp	
DAX	-	-	英10年債	1.0410	0.3bp	
ハンセン指数	25,862.99	▲ 61.06	豪10年債	2.3920	▲ 2.0bp	
上海総合	3,091.66	▲ 13.88	為替市況	USD/CNH	6.7817	0.0051
USDJPY 3M Vol	8.42	▲ 0.05%	ドルインデックス	ドルインデックス	96.80	0.08
USDJPY 6M Vol	9.18	▲ 0.07%	商品市況	CRB指数	177.296	▲ 0.67
EURJPY 3M Vol	8.90	▲ 0.09%		NY金	1,282.70	2.50
EURJPY 6M Vol	10.23	▲ 0.04%		WTI	47.40	▲ 0.26
				Dubai Spot	48.64	0.78

【昨日の指標等】

Date	Time	中	Event	結果	予想
6月5日	10:45	中	CaixinPMI(コンポジット/サービス業)	5月 515/52.8	-/-
	16:55	独	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	5月 554/57.4	552/57.3
	17:00	欧	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	5月 563/56.8	562/56.8
	22:45	米	マークイットPMI(サービス業/コンポジット)・確報	5月 536/53.6	-/-
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	5月 56.9	57.1
	23:00	米	製造業受注指数	4月 -0.2%	-0.2%
	23:00	米	耐久財受注(前月比)・確報	4月 -0.8%	-0.6%
	23:00	米	耐久財受注(除輸送用機器・前月比)・確報	4月 -0.5%	-0.2%

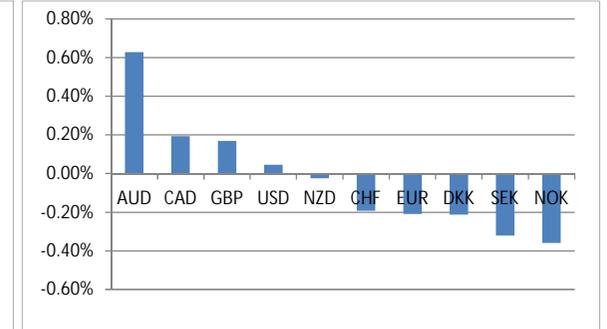
【本日の予定】

Date	Time	豪	Event	予想	前回
6月6日	13:30	豪	RBAキャッシュレートの	-	1.50%
	18:00	欧	小売売上高(前月比/前年比)	4月 0.2%/2.1%	0.3%/2.3%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.00	1.1200-1.1300	123.70-124.70

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は東京時間に続き、110円30銭台から60銭台の間で小幅な動きとなった。米株のS&Pも前日に付けた2,440の高値をブレークできずやや反落。ニューヨーク時間に発表されたISM非製造業景況指数はほぼ市場予想通りとなったが、製造業受注指数及び耐久財受注が予想を下回ったことでドル円はやや下押しするも、値幅は限定的。その後は材料に欠ける中、ドル円は揉み合う展開に。本日のドル円相場は、6月8日に行われるECB理事会及びイギリス総選挙を控え、昨日同様狭いレンジで推移するものと予想。注目のECB理事会では、QEの継続とフォワードガイダンスに関する文言が注目される。一方、相次ぐテロ事件を受けたイギリスについては治安対策をめぐり政策案に、有権者の動向がどの程度左右されるかに注意したい。

東京	前週末に発表された米5月雇用統計が総じて冴えない内容となったことを背景に週明けドル売り優勢の展開が続く中でドル円は、オアア時間に安値となる110.25まで軟化。但し、一段の下落とはならず東京時間のドル円は110.47レベルでオープン。前日比マイナス圏での寄り付きとなった日経平均が底堅く推移する中、ドル円は110円台半ばで揉み合う展開。午後に入り、日経平均が再び前日比プラス圏に浮上して上げ幅を拡大する展開し日中高値を更新する動きとなると、ドル円も連れ高となり一時110.73まで上昇。引けにかけてはやや材料難となる中で上値を抑えられ、結局110.61レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は110円台半ばで小動き。朝方は110.61レベルでオープン。動意を欠く中で110円台半ばで小動きとなり、110.54レベルでNYへ渡った。ポンドは1.28台半ばから1.29台前半まで上昇。朝方は1.2878レベルでオープン。序盤に発表された英5月サービスPMI、コンポジットPMIが共に市場コンセンサスより弱い結果となったことを受け一時下値1.2863まで下落したものの、その後発表されたYouGov世論調査の支持率では保守党42%、労働党38%、またその直後に発表されたCM世論調査では保守党45%、労働党34%といずれの世論調査でも保守党が優勢との結果となったことからポンドが全般的に上昇。結局、1.2913レベルでNYへ渡った。(ロンドン-トルガ- 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	今週は週後半に重要イベントを多く控えていることから、海外市場のドル円は110.50を中心とした小幅レンジでの推移となり、110.51レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇を横目に110.69まで上昇したが、中東5ヶ国とカ-ルとの外交関係断絶を受け原油協調減産の先行懸念から下落していたWTI相場が一段と下げ幅を拡大する動きに加え、米株も安寄りしたことから、ドル円は海外時間高値110.73を上抜けることなく反落。米5月ISM非製造業景況指数は予想を下回る結果となったものの、56.9という結果自体は2015年7月以来の水準57.8(前月51.4)まで急上昇した雇用指数に牽引された高水準であったことから、相場への影響は限定的。今週は8日に ECB理事会、英下院選挙、コミ-前FBI長官による米上院情報特別委員会での証言など、重要イベントを複数控えていることから、その後は110.50狭みの方向感ない動きに終始し、110.46レベルでクローズ。なお、午後にはトランプ大統領、コミ-証言には行政特権行使しない、とのヘッドラインが流れたが、相場の反応はみられなかった。一方、ユーロは1.1247レベルでNYオープン。米金利上昇を受け安値1.1235まで下落したが、すぐに切り返してその後は1.1250付近で小動きに終始し、1.1254レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断なさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。